

様式 2

平成 30 年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

学校名 菊川市立河城小学校

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	全校児童 270 名・教職員 25 名 保護者 25 名・地域の方 2 名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（低学年：道徳、学級活動 3 年生以上：総合的な学習の時間） 行事名（ ） ② その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 (ねらい)	岩崎恭子さんのオリンピックに参加した実体験を聞くことを元に、 ・岩崎恭子さんの講演を通して、子どもたちが夢や希望を抱き、未来の自分の姿を具体的にもつきかけとすることができる。（本気） ・岩崎恭子さんの講演を通して、国際的な視野を広げ人のつながりをより深めることができる。（活気） ・岩崎恭子さんの講演を通して、人と人とのつながりを大切にする心を育む。また、運動に進んで取り組む態度を養う。（元気）
5 取組内容	1 事前学習（総合的な学習の時間） オリンピック・パラリンピックに対する子どもたちの今の気持ちを引き出しながら、東京オリンピック・パラリンピックへの希望や期待感を高める学習を学校単位で行う。手立てとして、オリンピックパラリンピック関連のビデオや動画を見る。 2 講師招聘 ・バルセロナオリンピック水泳女子 200m 平泳ぎ金メダリストであり、静岡県出身でもある岩崎恭子氏を迎え、「氏の経験や夢」を語っていただく。 ・可能ならば実際にメダルを見せていただき、その価値について、子どもたちに驚きや感動を味わわせたい。 ・氏と一緒にクラス単位で写真を撮り、この活動を記録と記憶に残す。また、このことによって子どもたちの心にも深く記憶として刻んでいく。 ・講演名を「幸せはいつも自分でつかむ」として、オリンピックとしての生き方を知ることを通して、子どもたちに生き方について考える機会とする。 3 事後指導 (1) 校内掲示で、オリンピック・パラリンピックのコーナーを設け、それに関連した掲示物を掲示する。

- (2) 総合的な学習の時間や家庭学習において、オリンピック・パラリンピックに関することを調べ、関心を高め意義を知るようにする。
- (3) 会の終了後に、振り返りの時間を設け、全児童の中に芽生えたオリンピック・パラリンピックについての興味や関心を含め、記憶に刻むようにする。
- 4 継続指導
給食時の昼の放送で、オリンピック・パラリンピッククイズを出し興味や関心を高める。

- ・児童がメダリストに直に触れ合う経験ができたことで、全てのねらいを達成することができた。



- ・全ての児童に、2020 東京オリンピック・パラリンピックに対する興味や関心を高めることができた。更に、職員の興味や関心も高まった。
- ・本校児童全てが、東京でオリンピック・パラリンピックが行われることを理解した。



- ・会場内の全ての人が金メダルを直に触ったり、岩崎恭子さんと記念写真を撮ったりしたことで、講演会に参加した人全員の心に深く記憶として刻まれた。



6 主な成果



- 岩崎さんが講演の中で、御自身の経験から学んだ「国際的な理解」「自分で経験することが大事であること」そして、「頼られる人になる」「相手の気持ちを理解してあげられる」等のことは、1年生から6年生の児童全てに、それぞれの価値を理解しやすいものであった。





岩崎 恭子さんの講話を聞いて

言葉を聞いていてかんだうしました。自分は
自分だけ。まわりなんか欲はない。という
言葉が心にひびきました。2月某月の
ころに言う言葉。どちらにしようかな？と
思っていたけど、しんとやうきか、
ええした？金メダルきこれらもう。とてもおも
た。たでもわたしはしょうかいのあめへんは、
ているけど、やりたくないな。いやだな
と思うときがあるから岩崎恭子さんの
言葉をしんじて、がんば。ていき
たいと思ひました。いやこと外
あるときも言葉をおもいたして、
いきなりと思ひました。



岩崎 恭子さんの講話を聞いて

わたしは最々オリンピックなで自分
にはかたけいなしと思ひました。
でも岩崎恭子さんの講話を聞いて
オリンピックに出ている人はわたし
らより、もっとと力をしているんだがあ
わたしにはかたけいなしじゃなないんだと
今日。きがつかしました。
そして水がなにくにからオリンピックの
リオデジャネイロにでている人はどうやて水泳
をしているのかもと知りたくなりました。
また、友達や家族やコーチがと。
でも大事いうことを知り家族や
友達を大切にしたいというきもち
がふかまりました。
わたしもなにか目標をつくりたいです。

名 詞

自分は最々オリンピックなで自分
にはかたけいなしと思ひました。
でも岩崎恭子さんの講話を聞いて
オリンピックに出ている人はわたし
らより、もっとと力をしているんだがあ
わたしにはかたけいなしじゃなないんだと
今日。きがつかしました。
そして水がなにくにからオリンピックの
リオデジャネイロにでている人はどうやて水泳
をしているのかもと知りたくなりました。
また、友達や家族やコーチがと。
でも大事いうことを知り家族や
友達を大切にしたいというきもち
がふかまりました。
わたしもなにか目標をつくりたいです。

岩崎 恭子さんの話を聞いて

自分だけ
名 詞
水泳は自分だけ。まわりなんか欲はない。という
言葉が心にひびきました。2月某月の
ころに言う言葉。どちらにしようかな？と
思っていたけど、しんとやうきか、
ええした？金メダルきこれらもう。とてもおも
た。たでもわたしはしょうかいのあめへんは、
ているけど、やりたくないな。いやだな
と思うときがあるから岩崎恭子さんの
言葉をしんじて、がんば。ていき
たいと思ひました。いやこと外
あるときも言葉をおもいたして、
いきなりと思ひました。

7実践において工夫した点
(事業の特色)

静岡県出身であり、金メダリストである岩崎恭子さんを迎え、競技人生で得たことを元に、オリンピックやパラリンピックの素晴らしさや学んだことを伝えていただく機会を設けたこと。

8主な課題等	・講師招聘の際に、日程や金銭面等の理由で断られるケースが多く、講師を探すことに苦労したこと。 ・講師の都合もあるが、連絡することに苦労したこと。 このような機会を設けていただき、感謝します。成果を考えると、課題の2つは大きな問題ではありませんでした。
9来年度以降 の実施予定	・今後の教育課程編成で、取り組みを考えていく。 ・岩崎恭子さんの講演会であった「メダル作成のための電化製品集め」というような活動に積極的に取り組んでいきたい。